

社会福祉法人育桜福祉会 第7生活ホームいくおう

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和8年1月29日（木） 9時00分より9時45分まで	
会場	第7生活ホームいくおう	
運営事務局 （2名）	第7生活ホームいくおう 管理者	
	第7生活ホームいくおう サービス管理責任者	
参加者 （4名）	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者 A
	利用者家族	利用者 A さん家族
	障害福祉に知見のある者	相談支援専門員
欠席者 （2名）	行政担当者	大師区地域みまもり保健センター担当
	地域の関係者	近隣住民
議事内容		
<p>1 開会の挨拶（趣旨説明）</p> <p>初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、管理者より地域における居住の場であるグループホームは障害のある方の住まいとして日々の生活を支援している。暮らしの場であるが故の閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。グループホームの生活の様子を地域の方に見ていただき、知っていただくとともに、障害者虐待防止の取組み、金銭等管理の仕組み、利用者からの苦情受付の仕組み、災害時への備えなどについてもご紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。</p> <p>2 自己紹介</p> <p>運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、管理者よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。</p> <p>3 事業説明</p> <p>管理者より利用者が安心して生活するための仕組みとして備える虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の取組みを紹介し、続けて金銭等管理の仕組み、職員体制、職員との情報共有及び人材育成に関する事項について説明された。</p> <p>4 事業所見学</p> <p>サービス管理責任者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。利用者 Aからはヘルパーと外出して楽しみになっている、自分の部屋に冷蔵庫があると生活</p>		

の様子の説明があった。

5 質疑応答

利用者家族からホーム玄関につながる階段の昇り降りについて足腰が弱くなると心配であるご意見を頂き、サービス管理責任者より建物の構造上、昇降機が取付できないため、必要な方には職員が介助を行い事故防止に努めていると説明された。

利用者家族から長年利用させて頂いているが、本人の体力の低下は感じており、今後の生活については相談していると説明された。

相談支援事業所より入居希望者がいた際に見学の対応が可能かの問い合わせがあり、管理者より見学は随時受け入れ可能であるが、利用に際しては消防法上の障害程度区分の割合の関係で障害程度区分2の方のみ対象としていることが説明された。また、入居者に対しかなり手厚い支援が行われていることを感じると感想をいただいた。管理者よりグループホームだけで生活を24時間完結させるのではなく、複数の関係機関が連携し支援チームで生活を支えていることが説明された。

6 閉会挨拶

管理者より、貴重な意見交換となったことの感謝を述べ、定刻で閉会した。